

# 会 議 録

## 1 会議名

上越市露店市場運営委員会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 露店市場出店状況の報告について（公開）
- (2) 朝市感謝祭について（公開）
- (3) 朝市の活性化に向けた取り組みについて（公開）
- (4) 朝市開設区間における自転車走行問題について（公開）
- (5) 今後の朝市について（公開）
- (6) その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年10月12日（水）午後3時00分から午後4時00分まで

## 4 開催場所

上越市役所 401会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：東條邦俊、須藤和子、斉京貴子、中村栄（代理）、園田裕久（代理）  
鳴海壽一、神谷淳一、相澤繁利、船木彰、古川辰彌、内藤重穂、松嶋隆、  
山口達雄、幸村萬三、町田裕子、相澤京子、石田陽子、高野永子、  
恩田ワカヨ
- ・事務局：観光振興課 五十嵐課長、柳澤振興係長、市村主任

## 8 発言の内容

### (1) 開会・挨拶（観光振興課五十嵐課長）

本日は御多用中、上越市露店市場運営委員会へ御出席いただき誠にありがとうございます。

今年の4月から観光振興課長を務めております五十嵐と申します。

この露店市場運営委員会は、条例において露店市場の適正な管理運営を図ることを目的に設置されております。委員の皆様からは、忌憚のない様々な御意見をいただき、これからの朝市について、議論していきたいと考えておりますが、年に 1 回の開催でありますので、この運営委員会に限らず色々な面で関係者の皆様とは継続して協議を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

## (2) 委嘱状の交付

議事に先立ち、委員の改選に伴う委嘱状を市長に代わり五十嵐観光振興課長が各委員に交付した。

(任期：平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

## (3) 委員長、副委員長の選出

委員長、副委員長の選出について、出席委員から事務局一任の発言があり、事務局から委員長に幸村萬三委員、副委員長に松嶋隆委員を諮問したところ、出席委員全員から承認された。

## (4) 議事

※上越市露店市場運営委員会規則第 4 条第 2 項の規定により、幸村委員長が議事進行を行った。

配付した資料に基づき、事務局より説明後、質疑応答を行った。

### ① 露店市場出店状況の報告について

事務局が別紙資料 1、資料 2、資料 3 に基づき説明。

質疑なし

### ② 朝市感謝祭について

上越朝市組合松嶋組合長が別紙資料 4 に基づき説明。

質疑なし

### ③ 朝市の活性化に向けた取り組みについて

事務局が別紙資料 5 に基づき説明。

質疑なし

### ④ 朝市開設区間における自転車走行問題について

事務局が別紙資料 6 に基づき説明。

幸村委員長：自転車の走行問題について、各朝市会場の現状を教えてくださいませんか。

古川委員：三・八の市では、開催日に必ず1回巡回しておりますが、自転車に乗って走行している方を見たことはありません。今後、注意して見ていきたいと思えます。

鳴海委員：二・七の市では、自転車に乗って走行している人が多いです。私も時間があれば道路に立って乗っている人に注意をしていますが、一度降りてもまた乗ってしまいます。注意だけではなかなか無くならないのが現状です。朝市には、高齢者や土日になれば子どもも来ますので、もし接触すれば大きな事故にもなりかねません。市や朝市組合と相談する中で、今回の取組を行うことになりましたが、自転車に乗ってはいけないということを認識してもらうためには、警察の巡回も必要だと思えます。警察からの協力もいただけないでしょうか。また、走行禁止を促す看板をもう少し増やしてもらえれば多少違うと思えます。

中村委員：本日、交通課の者がおりませんので、回答できませんが、今の御意（代理）見を持ち帰りまして、市の方とも相談しながら対応を検討させていただきます。

松嶋副委員長：朝市組合として、全体的に見ると古川委員のおっしゃるとおり、三・八の市、それから柿崎の一の日市はほとんどいません。多いのは高田の二・七の市と四・九の市です。大町通りには辻が多いので、自転車走行禁止を促す看板を出していますが、分かっている方が多いので、口頭で注意してもまたすぐ乗ってしまう方が多く見られます。この問題を受けて朝市組合では、出店者に対して自転車に乗っている方を見かけたら各自注意するよう依頼を出したところです。

神谷委員：松嶋副委員長からお話しがあったとおり、四・九の市も問題になっています。昔のように、道が多くの人で込んでいけば乗る人もいないのですが、道の端から端まで見渡せるような日は、乗ってしまう方がいます。私は、交通安全協会の委員としても高田駅前通りを見ているのですが、そこでも自転車走行のマナーが悪い状況です。鳴海委員からもお話しがあったとおり、私たちは、注意することはできても、厳しく取り締まることはできないので、乗っている方も

慣れっこになって、私たちが注意しても「気をつけるわね」で終わってしまいます。ですので、協力して取り組むのは良いのですが、もう一步踏み込んだやり方を考えないと解決しない問題だと思います。

幸村委員長：高齢者が多い朝市会場においては、ちょっとした接触でも大げかになる可能性がありますので、自転車走行が問題になっている会場においては、事務局から提案のあった市、町内会等の管理受託者、朝市組合の三者が中心となり、自転車走行禁止の徹底に向けた重点取組を行うこととします。なお、実施期間や実施方法等につきましては、今ほどいただいた御意見を参考に、三者で協議しながら適切な時期、回数を実施することとします。

五十嵐課長：この自転車走行問題について、上越警察署の交通課に確認したところ、常時車両通行止めとなっておらず、朝市のように開催時のみ臨時的に車両通行止めにする場合は、違反したとしても罰則規定は適用されないとのこと。市、組合、町内会等の三者で取り組んだとしても、乗っている方が慣れっこになっているとなかなか解決しないかもしれません。たとえ罰則が適用されないとしても、警察の方が制服を着て立っているだけで、だいぶ効果が違うと思いますので、今後、交通課の方とも御相談させていただければと思います。

#### ⑤ 今後の朝市について（意見交換）

市村主任：委員から事前に御意見をいただいておりますので、内容の紹介とその対応について、事務局から説明させていただきます。「三・八の市会場の南側入口近く、新潟日報販売センター隣にあります、現在使用していない駐車場をお借りしたらどうか。」という御意見をいただきました。事前に直江津三八市場振興会様と朝市組合様に相談させていただきましたが、三・八の市には、船見公園という大きな駐車場があること、また、現在ポールとチェーンによる立ち入り禁止策が講じられており、仮に借用できたとしても朝市開催日の度に設置、撤去を行わなければいけないこと、さらに朝市利用者ではない方が無断で長時間駐車してしまった場合の対応など、管理において課題が多いことから、借用せず現状のままとしたいと考えております。

## ⑥ その他

柳澤係長：事務局から三点ございます。一点目ですが、今年4月の観桜会において、貸ボートを利用していた中学生が転落し、死亡するという痛ましい事故が発生しました。貸ボートについては、移動露店として出店の申請があり、観桜会期間に限り市が許可している露店です。事故の原因については、現在も警察の捜査中ですが、出店者は安全管理を見直すこととしておりますので、市といたしましては、来年度の観桜会に向けて、出店者が行う安全管理の見直しを確認するとともに、適切に対処してまいりたいと考えております。次に、「地方創生」についてです。国では、平成26年11月にそれぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、創生と好循環の確立を目指す「地方創生」の取組を始めました。昨年度からは、さらに地方自治体の地方創生の取組を支援するため、地方創生に係る交付金を設けました。上越市では、この制度を活用し、「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」と「雪室・利雪による地域産業イノベーション」の二つのテーマの取組を進めて行くこととしており、前者の取り組みの一つとして、朝市についても「街の再生」事業として取り入れ、朝市の活性化に取り組んでいくこととしています。この取り組みは、来年度以降の3か年計画としており、平成29年度には、街なか回遊マップ等を盛り込んだ朝市のパンフレットを作成し、立ち寄り先の一つとして朝市に足を運んでいただけるきっかけを作るほか、新規出店者の参入促進や既存出店者の継続を目的に、出店に必要な備品等の購入、更新費用等を補助する、「出店者支援補助金」を設けることを取組案として掲げ、検討を進めているところです。市では、国の「地方創生」に係る交付金を最大限活用し、100年以上続く当市の朝市を盛り上げ、守っていきたいと考えています。最後に、今ほどの「地方創生」に係る事業の詳細や出店者の高齢化、後継者不足等の朝市における諸課題を膝詰めで議論するため、出店者、地元町内会等の管理受託者、その他関係者を交えた検討会を必要に応じて適宜開催してまいりたいと考えております。

検討の結果は必要に応じて、この露店市場運営委員会に御報告させていただきますので、御了承ください。

鳴海委員：今ほどの検討会については、出店者や町内会等の関係者だけでなく地元以外からも来ることを考えて、色々な人の意見を聴いた方が良いでしょうと思います。例えば、私ども町内ではシェアハウスを作るということで、建築関係や関連する大学の学生等々で検討を行っています。朝市についても、多方面の方の意見を聴きながら、もっと利用しやすい、出店しやすい朝市にするにはどうしたらいいのか議論した方が良いでしょうと思います。二・七の市では、何の調査をしているか分かりませんが、大学生が何人かのグループで大町通りを調査しているようですので、そういう学生も仲間に入れて、議論の幅を広げれば良いのではないのでしょうか。

五十嵐課長：貴重な御意見ありがとうございます。まずはこの委員会、そして関係者で議論すべきと思いましたが、その旨お話しさせていただきましたが、大学生のようにお若い方の御意見もぜひお聴きしたいと思っています。話は変わりますが、先ほど御説明させていただきましたとおり、出店数が年々減少しており、このことは議会でもよく取り上げられます。しかし、減少問題は朝市に限ったことではなく、全国的に少子高齢化で人口は年々減少の一途をたどっています。上越市においては年間約 1,700 人、国でいうと約 220,000 人が毎年減少している状況です。そんな中でどうしていくのか、これは非常に難しい問題だと思っています。日本の三大朝市と言われている輪島、高山、勝浦においても年々減少していると聞いております。輪島においては、観光の朝市と言われていますが、人は多いが、買う人は少ないという状況のようです。当市においても観光振興課が朝市を所管しておりますが、観光と結び付けて観光バス用の大型駐車場を用意すればいいという問題でもないと思います。当市でもツアーを受け入れたことがありましたが、「スーパーと変わらない、そんなに安くない」と言うだけで、買い物をしないで帰ってしまう方が多いという状況でした。また、元々は、地元の台所として、青果や生活必需品を買い求める地元住民のための朝市というのが始まりですの

で、観光の視点だけでなく、商業や文化という視点も持ちながら色々な方の御意見を聴き、検討を進めてまいりたいと考えております。委員の皆様からは今日に限らず、何かありましたら御意見を頂戴できればと思っております。

幸村委員長：他に御意見、御質問がなければ、これで議事を終了し、進行を事務局にお戻しします。

(5) 閉会（観光振興課柳澤係長）

本日は、露店市場について、貴重な御意見をいただき誠にありがとうございます。いただいた御意見を基に、今後の具体的な方策を検討してまいります。この場に限らず、お気づきの点があれば、随時事務局まで御連絡いただけると幸いです。それでは、これにて平成28年度上越市露店市場運営委員会を終了させていただきます。委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

9 問合せ先

産業観光部観光振興課振興係

TEL：025-526-5111（内線1246）

FAX：025-526-6113

E-mail：kanko-shinko@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。